

平成24年5月14日

保護者の皆様

練馬区立豊玉第二小学校

校長 佐々木 秀之

金環日食における児童の安全確保について

薫風の候、皆様におかれましてはご健勝にて日々ご多用の毎日をお過ごしのこととご推察申し上げます。

さて、5月21日（月）の金環日食のピークが午前7時30分過ぎであり、登校時刻に重なることから、学校では下記の事項をもとに指導してまいります。観察時や登校時における児童の安全確保について、ご家庭においても指導をお願いいたします。

記

1 観察の際の注意事項

太陽が欠けた状態や曇り空の時も目に有害な光が出ているため、太陽を直視してはいけません。メガネ型の日食グラスを使用する場合は、隙間から太陽の光が入らないよう顔全体を厚紙などで周りを覆うなど、細心の注意を払うこと。

〔主な指導事項〕

- 太陽の光は非常に強く、肉眼で直接見つめるとわずかな時間であっても目を痛めてしまうこと
- 日食観察専用のグラスや遮光板で観察すること
- 色つき下敷き、すずを付けたガラス板、色ガラス、サングラスやファッショングラス用グラス、ゴーグル、感光したカラーネガフィルム、カメラ用のND（減光）フィルター、重ねた偏光板など、日食観察専用のグラスでない場合は、適切な減光が得られないため危険であること

2 登校の際の注意事項

太陽がリング上に見える時間帯は午前7時30分過ぎがピークであるが、日食は9時ごろまで続くため、登校時間帯と重なることから、交通事故や落下・転倒事故等を防ぐため、登校途中、歩きながらまたは道路にて観察しないこと。また、辺りが暗くなることも予想されるので、注意すること。

3 その他

学校においては登校後も日食が続いていることから、全校朝会を中止し、クラス又は学年単位で遮光板を用いて観察します。